

韓国留学

情報文化学科 2年 本間華

○はじめに

私は8月31日から12月26日までの4か月間、韓国に留学してきました。もちろん、留学に行くとした理由は語学力向上のためでしたが、もともとK-POPが好きでこれは絶好の機会と思い、両親に無理を言って留学に行かせていただきました。最初は本当に不安でした。一緒に韓国へ行った友達が多かったので学校の授業や言葉の心配はそれほどありませんでしたが、家事等の面で両親と離れても一人で暮らしていけるのかという不安が大きかったです。そのことについて両親にもたくさん心配されましたが、何よりも私の韓国で暮らし韓国で学びたいという思いが不安よりもはるかに強かったため留学することが出来ました。不安とわくわくでいっぱいだった出発前日、当日が懐かしいです。

○寄宿舎生活

私たちは全員□덕안という寄宿舎に入りました。□기駅の隣で、学校からもわりかし近いので、それなりの値段でした。二人部屋なのですが机、いすが一つしかなく不便でした。IH、冷蔵庫、電子レンジ、洗濯機、ベッドがありました。その他の生活用品は何もなかったのだからキッチン家具、ゴミ箱まですべて韓国で揃えました。ルームメイトとはただ必要な物を二人で買い揃えているだけなのに新鮮でなぜかすごく楽しかったです。二人とも実家暮らしだったので家事なんてできるわけがなく、笑いました。でも今思えばどこの部屋よりも床がきれいで、どこの部屋よりも一緒に楽しく料理をしたと思います。朝7時に目覚ましを止めて、ごはんを食べて、歯を磨いて、着替えて、化粧をして、二人ともすべて同じ順序で支度をして学校へ行くそれだけでなぜか楽しかったです。朝起きてみたらホットケーキが焼けていたり、土日になるとご飯を作って帰りを待っていたり待っていていたり、面倒くさくて前からチキンを買ってきたり、いない間に掃除をしてくれたり、昼寝をしている間に洗濯を終わらせてみたり、ほんとうにルームメイトとは上手くやっていたし、くだらないことをして毎日笑って過ごしました。韓国に行く前から一緒にいましたが、一緒に生活してさらに仲良くなりました。本当にいい友達の、宮野美涼です。



部屋にはトイレとシャワーが一緒になっていて、間にガラスのドアが1枚あるだけでした。浴槽がなくドアの下があいているので、シャワーを浴びるとトイレのほうにも少し水がいつてしまうことがありました、が、トイレトーパーを流しても大丈夫だったし他の寄宿舍よりははるかに良かったと思います。オンドルもスイッチ一つでつき、天気の良い寒い日でも部屋ではTシャツ一枚で過ごせました。



門限がないというのも最高でした。たまに新潟組で一つの部屋に集まり遅くまでトランプをして遊んだり、夜中の2時にみんなでチキンを買って行って食べたり、サウナに長居して帰ってきたり、夜の東大門ショッピングに出かけたりとても楽しかったです。バスも1時2時くらいまで近くを走っているのが安心でした。言うことなしの寄宿舍だったと思います。

○学校

私たちは最初3週間のプログラムで韓国語の授業を受けました。最初に쓰기와 말하기の簡単なクラス分けテストを受けてクラスが分かれました。新潟組は11人で、私はそのうち3人と一緒になり不安は何もありませんでした。15人のクラスで2人の中国人以外はみんな日本人でした。いいのか悪いのかわかりませんが日本人ばかりだったのですぐに仲良くなれました。授業はあいさつから始まるような初級1の内容だったので、新潟組には最初はつまらなかったです。毎週木曜日に現地学習という楽しいものがありました。焼き物のコップを作ったり、景福宮、民族村、NANTAに行ったりしてクラスの友達と楽しみました。

初めの3週間が終わると、次は10週間コースに移りました。もう一度口舌のクラス分けテストを受けました。今度はほとんどがバラバラになり、15人ほどのクラス



も国際色豊かになりました。私のクラスは中国、香港、台湾、スウェーデン、フランス、タイの人がいました。日本人は私と小島さんを含めて4人もいました。はじめは小島さんや他の日本人とばかり話をしていたのでみんなと仲良くなるまでに時間がかかりました。そんな中、ある日、教室でクラスメイトの誕生日会をしました。そしてその日から私たちのクラスは一気に仲が良くなり、みんなでごはんを食べたりもできました。唯一辛かったのはクラスみんなが午後から一緒に遊ぶというときに、私たち新潟組は授業があって行けなかったことです。悔しかったです。



そして、一泊2日の山旅行にも行きました。初級1、2の全員が行くのですごく大規模な旅行でした。あんなに長い時間をクラスみんなと過ごすのは初めてだったので楽しかったです。早起きして日の出もみんなで見ました。はじめの頃が嘘のように本当にみんなが仲良くなりました。

10週間が終わり普通の人は遊んでいるころ、私たち新潟組は必死にトピック試験勉強の授業を受けていました。みんなが睡魔と格闘している姿が思い出されます。

3週間コースの時から金曜以外は毎日、午後授業がありました。たまに面倒くさいと思いつつも受ける時もありました。大変だったのはゼミです。簡単な内容ですが、調べたことをハングルでまとめるのが難しくて頭を使ったし、時間がかかりました。最初はグループで発表をしましたが、最後にはすべて自分で調べてまとめて発表しました。自分ができる範囲で文章を作ったのでとても勉強になったと思います。

○トウミ

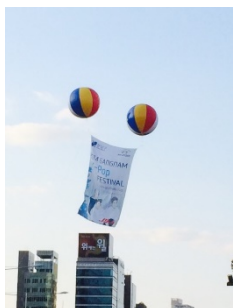
私は行く前はきれいなお姉さんにトウミをやらせてもらって一緒に出かけたりショッピングをしたりして楽しみたいなと思いつトウミが付くのをワクワクしていました。ですが、現実には男でまじめで勉強の話しかしない、少し変で正反対のトウミでした。もちろん一緒に出かけることもなく、ただただ会ってごはんを食べて少し会話する程度でした。正直毎回会うのが少し憂鬱でした。行く前から留學生活で楽しみにしていたトウミは残念な結果となりました。

○思い出いろいろ

日本人以外の友達を作りたいと思い、クラスでできた香港人、台湾人の友達とたくさん遊んだことが一つの思い出です。一緒に出かけたりごはんを食べたり、たまに家に遊びに行ったり来たり、学校で休み時間にはいつも会話していました。共通語はもちろん韓国語なので話す練習にもなりました。しかし相手は英語も達者だったのでとっさに英語で話される



とわからなくなってしまう、自分の英語力が落ちているなど実感させられました。今でもLINE や Skype をしてつながっています。また韓国で会いたいし、いつか香港にも行ってみたいです。



また、好きなアイドルの無料イベントで辛かったこともありました。毎年夕方からのイベントですが無料ということもあってファンは前日から会場の列に並びます。なので私も友達と 10 月の寒空の下、前日の午後 10 時から並びました。まだ 10 月だから、、、と油断して日中と同じ格好で出かけ、いざ並んでみると尋常じゃないほど寒くて夜中は本当に凍死を考えました。ここで寝たら終わると思い眠い目を必死にこじ開けて、コンビニでスープを買って飲んだりして耐えました。死に物狂いで並んで見たイベントは一生忘れられません。今では笑い話でいい思い出です。

韓国と言ったらやはり、おいしい食べ物です。日本にないおいしいものをたくさん食べたことがもしかすると一番の思い出かもしれません。私は韓国のかき氷がとても気に入りました。今回の留学メンバーはこれでもかっ！というほどたくさん食べれる食欲旺盛な人が集まりました。一番驚いたのが、宿舎のとなりのチキン屋にチキンを食べに行き、でも物足りなくそれから大学の近くのボロウまい食堂（通称ばーちゃん家）に行き、プデチゲや豚肉炒めなどもろもろ食べ、それでも物足りなかったらしくその後クレープを食べに行ったメンバーがいました。どうしてそんなに食べられるのかと思いきや笑いました。



サムギョプサルが食べたくて大学の近くのおいしくて安いお店に行った 4 人もいました。その 4 人はなんと 12 人前も食べ、お店の人が笑っていたそうです。安い売りの店なのにたくさん食べた結果高くなってしまったそうです。しかも中の席が空いていなくて 12 月なのに外の席で食べたそうです。考えるだけで寒そうすぎて笑いました。その後にはたい焼きを買って食べていました。おもしろかったです。

〇まとめ

私は始め漠然と韓国が好きというただの趣味のために韓国に留学しましたが、留学を経てたくさんのことを学びました。もちろん韓国はもっと好きになったし、また韓国に住みたいとも思います。それに加えて感じたことは韓国で生活してみて以前よりも自分は日本が好きになったのではないかということです。韓国で生活する前までは自分の国について何も考えることはなかったし、ましてや改めてやっぱり日本はいいな、日本はすごい、などという感情は当たり前になっていて意識もしませんでした。しかしむこうで生活してみて私たちはあんなにもいい国でどれだけ当たり前で過ごしていたのだろうかと改めて考えさせられました。韓国人はほんとうにせっかちで気が強い人が多く、お客の対応は日本で

ありえないほどひどい人もいます。お店の店員はケータイをみながら休んでいて客がレジに来た時だけ対応します。市場の店員のおばさん達は平気で商品の上に座って客の前でごはんを食べています。こうした点は日本が優れているなと感じました。

逆に韓国がいいなと思ったことは上下関係です。韓国人は目上の人とはともかく初めて会ったあきらかな年下の人にまでも自然に尊敬語を使っていました。小さい子供まで両親に尊敬語で話していました。日本でいう「ですか」ではなく「でいらっしゃいますか」のような感じです。すごくいいことだなと思いました。

私にとってはただ好きな国だった韓国をこの留学を通して違う角度からも見て考えることができ理解が深まりました。韓国は日本をお手本にするべきだと思う点もあったし、私達も韓国人を見習うべきだとも思いました。幸せな濃い4カ月でした。



みんなおもしろくて大好きです♡